

都立上野高校 進路通信3年生版 羅針盤第9号



令和5年11月22日（水）
都立上野高校進路指導部
「自主協調・叡智健康」

先輩に聞く「共通テスト必勝法」PART II

共通テストは来年の1月13日（土）14日（日）に行われます。共通テストは、「羅針盤第7号」でも書いたとおり、国公立大受験者だけでなく、私大志望の人も、とても重要だということが分かってきました。

国公立大受験の人は、特に共テ重視型の大学を志望する場合、かなりのウエイトを占めます。過去問や予想問題で演習をしっかりと行うとともに、弱点を克服し十分な対策を練っていきましょう。二次試験重視国公立大志望の人も共テで合格ラインを確保できれば、基礎力がしっかり出来ていることになるので、共テが終わった40日後にある二次試験や3月始めから中旬にかけて行われる中期・後期試験に向けて、対策を練ることが出来ます。

私立大志望の人は、一般入試がメインですが、共通テストの使い方が重要になります。共テ利用入試は事前に出願するものもありますが、受験後に判定を見た後に出願できる入試もあるので、点数に応じてうまく活用しましょう。私立大の3月入試も多くは共テのみで判定されます。私立大学専願の人も共テを大事な通過点として考え、ベストを尽くしましょう。

【数学ⅠA・ⅡB】

75期 明治大学理工学部 E. H. 君

【参考書や勉強へのアプローチ法】

○まずは質より量

→全範囲の基礎問題を解く。とにかく演習量を増やし、様々な問題に触れていくことで、類似問題を見かけることが多くなる。

○計算速度を上げていく

→共通テストの数学は、時間がシビアなので、普段の計算からスピードを意識することが大切。多少の計算は暗算できるようになると、とてもスピードが上がる。普段の練習を積み重ねれば、正確性がどんどん上がっていく。

○別解も頭に入れておく

→確率とかは解き方が一通りじゃないことも多く、複数のアプローチ方法があるので、別解も覚えておくことで、時短になったり、正答率が上がったりする。

○答えを導くための手順を理解して覚える

→覚えるのは答えではなく、その過程で用いた公式やアプローチの仕方。間違えてしまった時は、復習した直後に類題を解いてみると定着する。

○間違えた問題は1週間以上間を開けて再挑戦

→必ず間違えたままにしない。理解して覚えるためには反復して思い出すことが大切。答えを忘れかけたくらいが再挑戦の時期。

○逆算して1日のやるべき事を決める

→とにかく計画を立てて、実行することがとても大切
数学だけに限らず、どの教科でも出来るので、是非やってみて欲しい。

【共通テスト過去問の取り組み方】

★70点以上を目指す人

○得意分野を先に解く

→時間に余裕がある状態で得意な大問を先に解くことで、焦ることなくいつも通りの成果が出しやすい。時間が少なくなり焦ると、計算ミスが起こりやすくなってしまうため

○1分以上明確な解法が分からない時は飛ばす

→数学の場合100点を目指すことが共通テストではない。20～30点分は分からなくても大丈夫というマインドでいくと少し気が楽になる。分からない問題に時間をかけすぎで他の問題が時間内に解ききれなくなるのが最悪のパターン。

○過去問で間違えた場所はその日に復習

→復習しないと似た問題が出題された時に解けない

★85点以上を目指す人

○自分オリジナルの時間配分と目標得点をつくる

→自分の得意不得意を分析し現実的に1番自分が取れそうな目標得点を決定する。

○大問ごとによく使う計算式を頭に入れておく

→問題文がどんなに複雑だとしても2次関数の単元なら必ず2次関数の式に帰着するし、図形と軽量なら三角比の定義や正弦定理・余弦定理に帰着することを頭に入れておけば、立式の際にあまり悩まなくて済む。文章は難しいが計算式にすれば、簡単な事が多い。

○余りの時間を作る

→マークミスをしないように練習から要注意する。

マークのずれは大幅な減点につながるので、万が一に備えて余りの時間をつくっておく。また年度によって、各大問に難易度に差があるので、いつも以上に時間がかかりそうな大問に余りの時間を費やしたりもできる。



【倫理政経】

75期 千葉大学法政経学部M. M. さん

共通テストの傾向として、ただ知識を問うだけでなく、資料から読み取れる事を使って答えさせる問題が増えています。知らなくても読めば答えられる国語のようなものをたまに出てきます。そういう問題をおとさないようにしてください。逆に資料をたくさん読ませたかと思えば、知識問題だったこともあるので、どこに時間を使えば良いか、最初にザッと全体に目を通しておくといいと思います。これは他の科目にも共通することです。

倫政は他の科目に比べて配点が低めに設定されることが多く、後で頑張っても暗記すれば大丈夫と思いがちです。しかし、単に語句だけでなく、一文が選択肢にあったり、当てはまる記号を全て選べといった厄介な問題も出てきます。言葉や時代の暗記だけでは、テストでその知識は使えません。覚えたら必ず演習問題や過去問を解いて、理解度を高めてください。人に説明してみるのもオススメです。

また解答解説には誤文のどこがどう違うのか書かれているので、もし自分が誤解していたり、答える際に迷ったなら読んでください。

インプットは勉強ではなく記憶すること。アウトプットが真の勉強だと誰かが言っていた気がします。ただし主要3教科と同じくらいゴリゴリに勉強するのはオススメしません。おそらく倫理政経を受ける人は、受験科目数が多いので、1つの教科を勉強していて飽きたら気分転換に倫政をやってみるのが丁度いいと思います。

大学生チューターに聞く併願校選びの成功と失敗例

大学受験では第一志望校だけでなく、併願校選びもとても重要です。75期大学生チューターに併願で成功したこと失敗したことを聞いてみました。

75期明治大学理工学部 E.Y君

【成功したこと】

併願校の試験を先に行うことで、第一志望・第二志望あたりで、緊張が少しやわらぎ、本調子で試験に挑めました。合格発表日と手続き〆切日がうまくかみ合い、入学金振込が1校のみで済みました。

【失敗したこと】

第4志望以下は全然過去問対策が間に合わず、模試でA判定だった大学が不合格になりました。

【後輩へのアドバイス】

3日連続は体力と集中力が持たないので、オススメしません。自分の実力は自分自身が一番分かっているはずです。安全校は2校以上はいりません。浅く広くよりも、狭く深くの方が絶対に良いと思います。保険をかけてたくさん受験しても、一つ一つの対策がおろそかになってしまいますだけです。自分が決めた何校かに絞って、全て合格するぞという気持ちで頑張ってください。

75期立教大学文学部 O.Aさん

【成功したこと】

安全校を共通テスト利用で受験したことで、私大入試の時期に会場に行って受験する日数を減らし、本命の大学に向けての勉強時間を増やすことが出来たことです。

【失敗したこと】

色々な大学に出願しすぎたことです。共テ出願で減らすことが出来たのですが、結構受験校が多すぎました。

【後輩へのアドバイス】

受験日について、本命志望校の受験の前日は絶対に他の大学の受験に行かない方が良いと思います。本命校の入試傾向をしっかりと頭に入れておいて欲しいし、前日にバタバタして睡眠不足になったら大惨事です。

75期千葉大学工学部 K.Mさん

【成功したこと】

国公立前期はもちろん、中期・後期も視野に入れた点がよかったと思います。中期・後期があると受験勉強は長くなりますが、国公立大学に3回受験できるので、チャンスが増え安心です。また色々な問題にあたる事が出来、楽しかったです。

【失敗したこと】

私は私立の併願を3つ受け、そのうち2つは共テ利用だったため、私大は1校しか受けませんでした。国立対策は十分でしたが、もう少し私立併願を増やし、自分より高いところ+安全圏をバランス良く入れても良かったかなと思っています。

【後輩へのアドバイス】

私立の併願を増やせば様々な問題に当たれるし、合格大学も増えますが、第一志望大学の問題に時間がさけないし、私大の問題はクセがあったりするので注意が必要です。先生や家族そして自分自身とも話しながら、併願は考えていきましょう。

75期法政大学文学部 F.Y君

【成功したこと】

難易度順に各大学群を受験できたことです。行きたい学科が決まっていたので、いわゆる大学群から立地や自分の学力を踏まえて選び志望しました。結果第一志望を法政大学とし、共テ利用を含めて、GMARCHから2校、成成明学独國武から1校、日東駒専から1校を受験しました。特に共テ利用で合格ラインを越えているものがあると余裕が生まれ、良かったです。

【失敗したこと】

早慶上智など挑戦校を設定しなかったことです。第一志望を実力相応校にしたので、不完

全燃焼に感じました。個人的には背伸びして努力する経験をすれば良かったと後悔しています。

【後輩へのアドバイス】

大学で学びたいことを決めて欲しいです。同じような名前の学部学科でも大学によって学ぶことは変わって来たりします。学びたいことを決めてそれにあった大学を決めると意外に絞られて来ます。

75期 千葉大学法政経学部 M.Yさん

【成功したこと】

安全校の試験日、合格発表日が本命の大学の受験日より早く、もし実力相応校+本命の大学が不合格になったとしても行ける大学はあるという安心感を持って試験ができたことです。

【失敗したこと】

安全校とは言ったものの、本当に受かるのか?と親から過度に心配され、安全校よりさらに安全なところも受験し、連日の受験で疲れがたまりました。

【後輩へのアドバイス】

本命の大学の試験より前に、受験の場になれておく(実力相応校や安全校を受験する)ことと大学に合格しているという安心感を持つことをオススメします。私立大学の共通テスト利用を使うのもいいと思います。ただGMARCHレベルになると厳しいですが、出願しておく、「一般はダメでも共テ利用で受かっていた」ということが起こるかもしれません。」

75期 東京外国語大学 N.K君

【成功したこと】

あまり受けすぎないということや受験方法・方式をを確認しておいたことがよかったです。必要科目が去年から変わることもあるので、確認することも大事ですし、連続で受験しないようにしたのは成功だったと思います。

【後輩へのアドバイス】

自分が志望する大学の傾向をしっかりと把握し、対策を練って行きましょう。敵を知り対策を行うことが合格の近道です。

先輩からの応援メッセージ「過去問が合格の鍵！」

75期早稲田大学文化構想学部 H.G君

早稲田・上智・明治・青学・中央等受験した大学のほとんどに合格出来ました。過去問を見て自分に何が足りないのか、常に考え続けて勉強したことが、合格の大きな理由だと思います。一冊を完璧にするというのが、自分に合わなかったのですが、8割くらいできたら、次に行って復習するというのを続けました。多分100冊以上やったと思います。長文の中で英単語も覚えていたので、単語帳はすき間時間に、記憶の整理に使い複数こなせました。英語や国語の問題集や参考書もたくさんやりました。世界史(日本史も)は教科書や参考書を繰り返しましょう。共テも一般入試も過去問を研究した上で、今やっている勉強や教材が入試結果に直結するか考えて勉強することが大事です。

自分のもう一つの勝因は、共テで失敗したこと!かもしれません。11月12月1月とかなり集中して実力を上げてきて、自分なりに手ごたえを感じていたのですが、共テが予想より悪く、やばい!と気が引き締まりました。そしてもう一回仕切り直して気合いを入れ、最後の入試まで自分の足りない部分を補強しながら、ベストを尽くせたと思います。失敗しても常にプラス思考で、合格を勝ち取ってください。76期のみなさんなら出来るはずです。

